

だんらくのつながりをとらえる

つかえる国語 四年

ーまい目 きそ

言葉のきまりをたしかめる

1 2 3 4

めやす10分

名前

1 「問い」の文を、ア～エから一つえらびましょう。

ア ツバメは、春に日本にやって来ます。

イ ツバメのひなは、口を大きく開けてえさを待ちます。

ウ ツバメは、なぜ家ののき下に巢を作るのでしょうか。

エ このように、ツバメは人のそばでくらししています。

答え

2 ア・①に合う言葉を「問い・まとめ・例」からえらんで書きましょう。

説明する文章の「はじめ」には ㊦ を書き、「おわり」には ㊧ を書くことが多い。

㊦

㊧

3 「おわり」のだんらくの始まりに使う言葉を、ア～エから二つえらびましょう。

ア このように

イ たとえは

ウ つまり

エ なぜなら

答え

答え

4 だんらくを変えるとき書き方として正しいものを、一つえらびましょう。

ア 行を変えず、一ますあけて続ける。

イ 行を変えて、はじめの一字を下げて書く。

ウ 行を変えて、一番上から書く。

答え

だんらくのつながりをとらえる

つかえる国語 四年

2まい目 よみとる

文章と資料から読み取る

1 2 3 4 めやす15分

名前

いぶきさんは、ツバメについて説明する文章を書き、
【組み立て表】にまとめました。【原こう】と【組み立て表】を読んで答えましょう。

【原こう】

①春になると、ツバメが日本にやって来て、家ののき下に巣^すを作ります。山や林ではなく、人にくらす場所に巣^すを作るのは、なぜでしょうか。

②一つ目の理由は、てきから身を守るためです。カラスやヘビは、人が近くににいる場所には近づきにくいので、ひなをおそわれにくくなります。

③二つ目の理由は、えさが多いからです。田んぼや畑の近くには、ツバメのえさになる小さな虫がたくさん飛んでいます。

④このように、ツバメは人のくらしのそばに巣^すを作ることで、安全にひなを育てているのです。

【組み立て表】

部分	だんらく	書いてあること
はじめ	①	問いの文
中	②と③	理由を二つ
おわり	④	まとめの文

1 ツバメが巣^すを作る場所を、①から五字で書きぬきましょう。

2 「中」のだんらくに書かれていることを、ア、エから二つえらびましょう。

ア ツバメがやって来る季節

イ てきから身を守れること

ウ 巣^すの作り方

エ えさが多いこと

答え

答え

【組み立て表】で「中」が②と③だとしかめてから読もう。

3 ア・①にあてはまる言葉を書きましょう。

②と③は、①の⑦に対する答えを、①つのだんらくに分けて書いている。

ア

①

4 ④のだんらくのはたらきを、一つえらびましょう。

ア ②と③をまとめて、問いの答えを言い直している。

イ 三つ目の理由を付け加えている。

ウ ①の問いを、もう一度たずねている。

答え

だんらくのつながりをとらえる

つかえる国語 四年

3まい目 かんがえる

くらべて筋道すじみちを立てる

1 2 3 4

めやす15分

名前

まひろさんは、体育の前に体そうをするわけを

説明する文章を下書きしました。【下書き】と

【話し合い】を読んで答えましょう。

【下書き】

- ① 体育の前には、なぜ体そうをするのでしょうか。
- ② 体を温めて、けがをふせぐためです。
- ③ このように、体そうには大切なはたらきがあります。
- ④ 体がよく動くようになるためです。

【話し合い】

いぶき

③が「このように」で始まっているね。

ことは

でも、④にもう一つ理由が書いてある。
まどめのあとに理由が来るのは変だよ。

まひろ

②と④は、どちらも理由だから、
続けてならべるといいね。

1 「まどめ」のだんらくは、①と④のどれですか。番号を書きましょう。

答え

2 ③と④の順番を入れかえるとよいのはなぜですか。一つえらびましょう。

ア

④の文が、③の文より短いから。

イ まどめは、理由を全部書いたあとに置くから。

ウ 問いの文は、最後に書くものだから。

答え

3 アとウにあてはまる言葉を書きましょう。

考え方のとちゅう ②と④は、どちらも問いに対する
書いている。まどめの③は、いちばん①に置く。②の
始まりには「ウ」の理由は」と書く、理由が二つある
ことが伝わる。

4

一つえらびましょう。

ア ところで、

イ このように、

ウ 二つ目の理由は、

エ たとえば、

答え

②を「一つ目の理由は」で始めたときの、④の始まりを考えよう。

